

能 あそび

有斐斎弘道館 連続講座

全
4
回

演目・演出の
詳しい説明も！

2
/
23
金

お囃子講座

12
/
22
金

能劇

8
/
25
金

独演仕舞十番尽

4
/
21
金

素謡「熊野」
すうたい ゆや

仕草、声、座敷、庭
——
間近で魅る迫力

講師
林 宗一郎

林喜右衛門家十四代当主
能楽師シテ方観世流職分

会場 有斐斎弘道館 または オンライン配信 | 開催時間 18:30～20:30

参加費 会場参加

4回一括(菓子付) 33,000円

4回一括(菓子、アーカイブ動画付) 35,000円

各回 4/21 6,000円 | 8/25 10,000円 | 12/22 10,000円 | 2/23 10,000円

オンライン配信

各回 2,000円(アーカイブ動画付)



申し込み・問い合わせ先 TEL 075-441-6662 E-mail info@kodo-kan.com

<https://kodo-kan.com/classes/nohasobi2023/>



能楽は「世界最古」の演劇といわれ、神へ奉納する舞から発展した日本独自の舞台芸術です。「古典芸能」といわれる能の鑑賞は、敷居が高く感じてしまいがちですが、有斐斎弘道館では能楽を「あそびで学ぶ」ことで、能を身近な演劇として捉え直し、魅力を伝える試みを続けてまいりました。

「能あそび」で解説する舞（身体表現、心理表現）と謡（場面の説明や、セリフ）を理解するだけで、能を見る楽しさが倍増します。

本年は、「素謡」「能劇」のほか「囃子講座」を開催いたします。座敷ならではの近い距離で鑑賞する仕草や声、庭の自然と隣り合った特別な空間での演出をお楽しみください。



講師

林 宗一郎

京観世五軒家のうち、唯一残る林喜右衛門家十四代当主、能楽師シテ方観世流職分、3歳で鞍馬天狗の花見役にて初舞台。オペラ歌手や歌舞伎役者と共演するなど、様々な分野で能楽の魅力を伝えている。

講座のポイント

- 講師が演目や演出についての詳しい解説を行います。
- 座敷ならではの近い距離で演目を楽しめます。
- 呈茶をいたします。演目の余韻を感じながらお菓子をいただきます。

能
ビ
ギ
ナ
ー
か
ら
ベ
テ
ラ
ン
ま
で
楽
し
め
ま
す

4
／
2
0
2
3
年
①

素謡

すうたい

「熊野」

ゆや

あらすじー平宗盛の愛人熊野は、東国にいる重病の母を見舞うために帰国を願うが許されず、花見の供を命ぜられる。花見の宴で、母を案じる熊野の歌をきいた宗盛は哀れを感じて帰国を許す。

素謡とは、舞や囃子を伴わない、謡だけの演奏形式のことです。

林 宗一郎（能楽師シテ方観世流）
味方 團（能楽師シテ方観世流）
松野 浩行（能楽師シテ方観世流）
田茂井 廣道（能楽師シテ方観世流）
樹下 千慧（能楽師シテ方観世流）

8
／
2
0
2
3
年
②

独演仕舞十番

「志賀」・「蘆刈」・「西行桜」・「桜川」・「鶴」
「養老」・「知章」・「楊貴妃」・「砧」・「春日龍神」

仕舞とは、能一曲の中でも、面白い、または動きがある場面を紋付袴の姿で舞う形式のことです。全ての演目の「見せ場」を楽しむことができる、贅沢な演出です。

林 宗一郎（能楽師シテ方観世流）
味方 團（能楽師シテ方観世流）
河村 浩太郎（能楽師シテ方観世流）
樹下 千慧（能楽師シテ方観世流）

12
／
2
0
2
3
年
③

能劇

能は、装束、舞、謡、囃子と様々な要素が組み合わさって1つの舞台を構成しています。有斐斎弘道館で開催する「能劇」とは、林宗一郎氏が考えた新たな演出方法で、舞と謡のみで魅せる能のことです。身体の動きと謡をお楽しみいただけます。

林 宗一郎（能楽師シテ方観世流）
田茂井 廣道（能楽師シテ方観世流）
松野 浩行（能楽師シテ方観世流）
有松 遼一（能楽師ワキ方高安流）
河村 浩太郎（能楽師シテ方観世流）
茂山 逸平（能楽師狂言方大蔵流）

2
／
2
0
2
4
年
④

お囃子講座

能では、笛、小鼓、大鼓、太鼓の4種類の楽器のみで音の演出を行います。かけ声で間合いをはかり、演奏の位置を知らせています。囃子方の皆さんは、舞台上でそれぞれどのような役割をしているのか、出演者の方から、直接学べる講座です。

林 宗一郎（能楽師シテ方観世流）
樹下 千慧（能楽師シテ方観世流）
杉 信太郎（能楽師笛方森田流）
前川 光範（能楽師太鼓方金春流）
河村 凜太郎（能楽師太鼓方石井流）
大倉 源次郎（能楽師小鼓方大蔵流）

有斐斎 弘道館

有斐斎弘道館（ゆうひさいこうどうかん）は、江戸時代を代表する儒者、皆川淇園（みながわきえん/1734～1807）の学問所「弘道館」址に建つ文化的建造物を保存しつつ、江戸時代の教養文化を楽しみながら考え、広めていくための活動を行っています。

寄附のお願い

有斐斎弘道館では、貴重な文化資産を次世代に引き継ぐために、ひとりでも多くの方々に賛同、ご協力をお願いしております。ご寄付について詳しくはウェブサイトをご覧ください。

